

第 16 回 美濃加茂市・早稲田大学文化交流事業 学生演劇公演 参加団体募集について

早稲田大学文化推進部文化企画課

【経緯】

早稲田大学は 2007 年 4 月に岐阜県美濃加茂市と文化交流協定を締結し、2008 年より毎年 9 月に、本学学生による演劇公演を行っています。美濃加茂市出身の坪内逍遙は、シェイクスピア作品の翻訳「新修シェイクスピア全集」全 40 巻を刊行したことで知られていますが、同時に演劇や舞踊の発展のためにも尽力し、論考の執筆のほか、劇脚本の作成や演劇指導のための養成所の設立等、多岐にわたり活躍しました。本事業は、演劇・舞台芸術の発展に多大な貢献をした坪内逍遙の精神に倣い、始まりました。

【概要】

学生の皆さんは岐阜県美濃加茂市にある「[みのかも文化の森](#)」で合宿生活をしながら稽古を積み、作品を披露します。この企画の大きな魅力は、都会ではなかなかできない野外での公演が可能なことです。しかしながら野外専用の劇場があるわけではありません。ミュージアムの敷地に広がる広い芝生、森、建物、空、全てが舞台となります。気に入った場所を自由自在に活用し、作品を上演することができます。夜には照明を工夫し幻想的な空間作りを、またガラス張りのエントランスホールで野外と一体型の演出を考えたり、敷地内の施設を利用した演出も可能です。



みのかも文化の森

【目的と期待】

「広い敷地を舞台として活用し、発想力を鍛えたい」「いつもと違う環境で、早稲田の演劇を知らない人たちにに向けて発表したい」「野外空間で、あらためて演技や舞台美術を研究したい」等、参加者の目的は様々です。自然を活かした作品、美濃加茂にインスピレーションを得た作品、逍遙やシェイクスピアにまつわる作品。あなたの創造力を存分に発揮して、ここでしかできない作品にチャレンジしてみませんか。

この企画は、学生の皆さんが主体となって創り上げる文化交流事業です。大学は皆さんのアイデアを形にするお手伝いをします。

学生の皆さんが、本企画を活用して積極的に外に飛び出し、坪内逍遙の精神に触れ、成長していただくことを期待しています。また、美濃加茂市民の皆さんとの交流を通して、本学と美濃加茂市の文化交流がより活発になることを願っています。



詳細は以下の募集要項で確認してください。また、応募前に気になることや提案等ありましたら、お気軽にご相談ください。意欲あふれる皆様からのご応募をお待ちしています。

第16回 美濃加茂市・早稲田大学文化交流事業 学生演劇公演 参加団体募集要項

1. 応募資格

原則として、演劇やその他舞台芸術活動を専門とする本学公認団体（学生の会、地方学生の会、同好会、学術院承認団体）で、運営に関わるスタッフ（制作、照明、音響、舞台監督等）を手配できる団体。

※複数団体のコラボレーションも可能。

※原則として現役の早大生をメンバーとすること。（他大生の参加については要相談。）

※3月に実施する現地見学&説明会へ参加された方が主宰、もしくは主要メンバーに入っていること。

2. 実施概要

滞在期間：2023年9月7日（木）～10日（日）

場 所：みのかも文化の森／美濃加茂市民ミュージアム（岐阜県美濃加茂市）

<http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>

〒505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1 TEL:0574-28-1110

内 容：演劇作品の上演

（敷地内（野外、エントランスホール、生活体験館まゆの家（古民家）等）を活用）

公 演：2023年9月9日（土）～10日（日）のうち2回（夜公演）

人 数：スタッフ・役者含め10名以内

上演に関して：

- ・ 上演時間は各回30～60分程度（アフタートーク含む）。
- ・ 公演場所・時間はみのかも文化の森、大学と相談の上決定すること。
- ・ 野外で実施する場合、雨天時の会場決定及びリハーサルを行うこと。
- ・ これまで上演した作品のリメイクや再演は可能。（ただし、主催は美濃加茂市・大学となり、「美濃加茂市・早稲田大学文化交流事業第16回公演」として上演すること）

照明・音響機材について：

- ・ 原則、音響・照明スタッフは各自で運営または手配すること。
- ・ 持込またはかも～る（美濃加茂市文化会館）、みのかも文化の森からの借用。他団体の利用がない場合には、近隣にあるかも～る（美濃加茂市文化会館）の機材を借用可能。機材の詳細は下見、各施設のウェブページ等で確認すること。
- ・ 滞在中、毎日稽古終了後に指定の場所に撤収する必要がある。

3. 大学からのサポート

①補助金の支給

- ・ 経費は上限20万円まで大学より実費補助（要領収書）。20万円を超える経費、また大学補助金の使途に含まれない費用に関しては、学生参加者の自己負担とする。
- ・ 大学からの補助金の使途に含まれるものは以下のとおり。

現地への往復交通費（高速バスおよびローカル線・路線バスが対象、新幹線は対象外、自家用車・レンタカーの使用は不可）、機材等運送費（宅配便）、舞台美術費、照明・音響費、スタッフ人件費（学生個人への謝礼は不可）、チラシデザイン費、滞在中の費用（食費）、等

※「第16回学生演劇公演」に係る諸経費に限る。

※広告・宣伝（チラシ印刷）費、映像記録費、宿舍利用費、運送費（宅配便）は、補助金とは別途大学および美濃加茂市が負担する。※上限有・要相談

ただし公開ゲネプロに要する広告・宣伝費は学生の負担となる場合がある。

②大学内での稽古・リハーサル・公開ゲネプロの場所及び滞在期間中の宿泊施設（みのかも文化の森内）の提供

- ・ 8～9月頃、小野記念講堂、どらま館、大隈講堂を稽古・リハーサル場所として便宜供与（要予約）。
※講堂利用は原則として平日の9:00～21:00。ただし大学の一斉休業期間および前後の定期清掃期間を除く。施設の利用状況により、ご希望に添えない場合がございます。
- ・ 宿泊については下記4を参照。

②プロの演劇・舞台関係者等による指導

- ・ 本公演にあたり、プロの演劇・舞台関係者等による指導を希望する場合は依頼できる。費用は、補助金とは別途大学が負担する。※上限有（下記参照）

プロによる指導・講評について

作品の上演に際して、主宰が希望すればプロの演劇・舞台関係者等に指導・講評をいただける可能性があります。希望したい場合は、指導・講評を希望する方の氏名、肩書（所属団体および演出家・役者等）、どのような指導・講評を希望するか等を参加企画書の自由記述欄にご記入ください。詳しくは採用後に相談に応じますが、指導者および指導内容はプロの方のご都合により、必ずしもご希望に添えるものとは限りません。

過去の指導例：小野記念講堂でのゲネプロおよびワークショップデモンストレーション観覧と講評、現地での本番観覧と講評もしくはアフタートーク、脚本指導等

4. 宿舎について

みのかも文化の森内にある「アトリエ棟」にて宿泊。（写真は参考資料を参照）

食事は自炊をすること（近隣のスーパーで買い出し可。調理室あり。最終日（昼）はお弁当の提供あり）、トイレ・シャワー共同、寝具・洗濯機あり、電動自転車使用可能。Wi-fi 利用可能。

※宿泊施設費、光熱費等の自己負担はありません。

5. 応募

受付期間：2023年4月3日（月）～ 2023年4月24日（月）平日 9:00～17:00

参加企画書を「早稲田文化ホームページ」（<http://www.waseda.jp/culture/partnership/minokamo/>）よりダウンロードし、添付書類と共に持参。

提出場所：文化推進部文化企画課（戸塚町1-103 99号館 STEP21 5階）

提出書類：

- ・ 参加企画書（所定用紙）
- ・ 団体または主宰者の過去の公演のチラシ、パンフレット、写真等の資料（最大5枚まで）
- ・ 過去の作品のDVD または mp4 形式の電子ファイル（団体の作品×1 および、今回作・演出する方の作品×1枚、合計2作品まで）

※過去の作品がない場合は、その旨記載。

6. 選考

採用決定：5月上旬を予定

決定団体：1団体のみ（コラボレーション企画は複数団体可能）

選考委員：本学文化推進部職員、みのかも文化の森／美濃加茂市民ミュージアム職員

選考方法：書類選考および面接（面接は文化推進部で実施）

選考基準：意欲、作品内容、スタッフの体制等を総合的に評価

注意事項：代表者（主宰）と演出・脚本担当者が異なる場合、面接の際は両者に出席していただきます。

※採用決定後、団体の都合による辞退は認めません。

7. 顔合わせ・説明会

参加が決定した団体は、5月下旬以降に文化企画課にて顔合わせ・説明会を行いますので、主宰およびその時点で参加が決定しているメンバーは、必ず参加してください。

8. その他

①記録・撮影について

- ・ 公演の様子を撮影し大学 Web サイト・SNS 等で紹介します。また現地でメディアからの取材を受けていただく場合があります（これまでの例：新聞・雑誌の取材、ケーブルテレビ出演、等）。

②参加メンバー全員の必須事項

- ・ 本事業の参加者は全員、美濃加茂出発前のミーティングへの出席および公演終了後の大学へのレポートの提出と反省会への出席が必須です。また美濃加茂市への出発前ミーティングおよび帰還後の反省会にて、アンケートへの回答等にご協力をお願いします。

③ご協力をお願い

- ・ 美濃加茂市あるいは大学の要望により、公演後のアフタートークや公演前後の広報等、本事業に関連するご協力をお願いする場合があります。

9. スケジュール（予定） ※変更となる場合もあります。

2023 年 4 月 3 日（月）～ 2023 年 4 月 24 日（月）17:00 まで	応募期間（文化企画課事務所へ参加企画書を持参）
4 月 3 日～5 月 8 日（月） 予定	面接期間（応相談） 場所：文化企画課事務所 （参加企画書を提出した団体には面接を行います）
5 月上旬	選考結果発表
5 月中	美濃加茂市・大学との打ち合わせ（顔合わせ・概要等説明）
6 月～8 月	現地下見（回数は任意。費用は補助金使用もしくは自己負担）
6 月中旬	チラシ初稿入稿
～7 月上旬	チラシ校正・納品、広報開始
8 月下旬～9 月上旬（出発前）	学内公開ゲネプロ（必須） 出発前ミーティング（ 全員参加必須 ）
9 月 7 日（木）～10 日（日）	美濃加茂市滞在、公演本番
9 月 29 日（月）まで	レポート提出（ 全員必須 ）
10 月中	反省会（ 全員参加必須 ）

最後に

※本学の新型コロナウイルス感染症対策及び学生の課外活動制限に準じて実施します。内容の変更、感染状況によっては事業の中止・延期がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。また本事業への参加にあたって、特に稽古・公演・美濃加茂市での滞在期間中は感染症対策の更なる徹底をお願いします。

★ご不明な点はお気軽にお問合せください！

お問合せ：文化推進部文化企画課 （99 号館 STEP21 5 階）

TEL:03-5272-4783（月～金 9:00-17:00） FAX:03-5272-4784

E-mail: minokamo-koen@list.waseda.jp

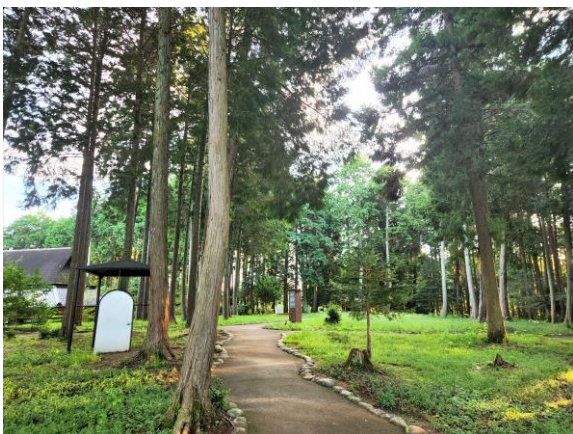
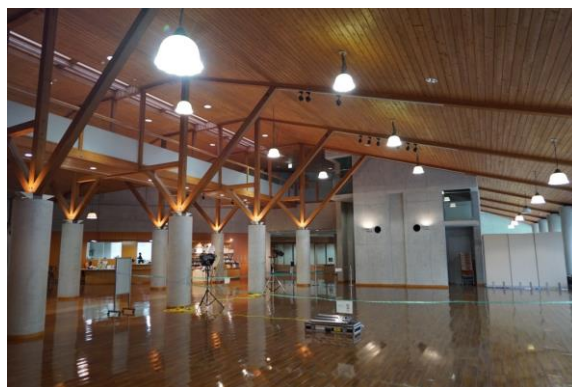
web: <https://www.waseda.jp/culture/>

担当：武笠（むかさ）・金子

↓↓↓施設内の写真、過去の公演の様子

参考資料

＜施設＞ みのかも文化の森 エントランスホール・芝生広場・森



宿泊施設（アトリエ棟）

室内



＜過去公演の様子＞ 詳しくは、[こちら](#)



2019 劇団あはひ



2018 演劇倶楽部



2017 劇団森



2016 劇団森



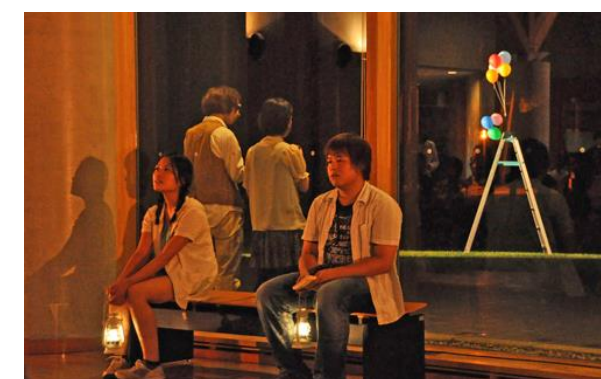
2015 劇団森



2014 演劇倶楽部

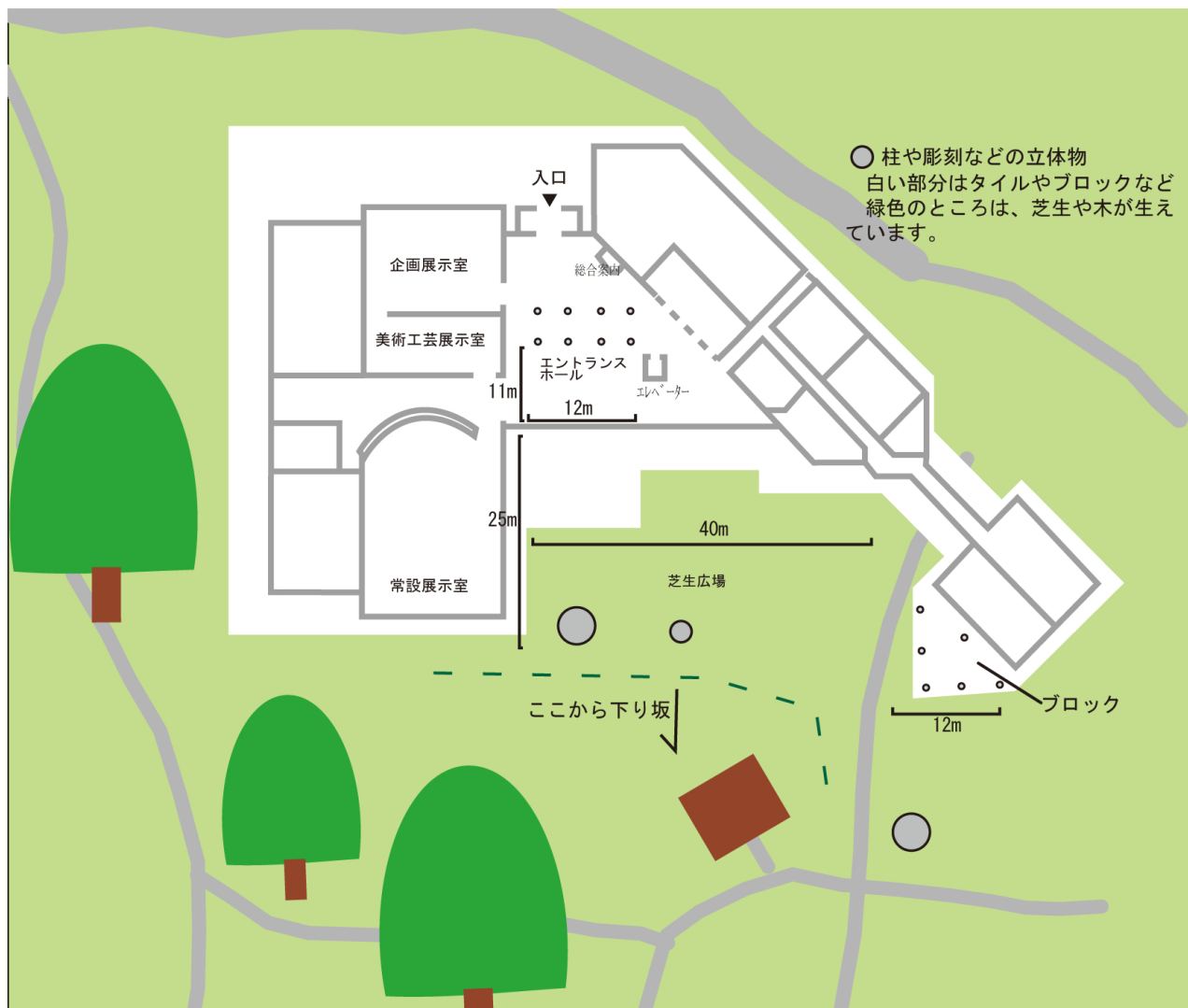


2013 劇団森



2012 演劇倶楽部

くみのかも文化の森／美濃加茂市民ミュージアム 会場平面図・貸出備品等＞



- ・ 照明機材（操作卓も含め）については、かも〜る（美濃加茂市文化会館）から借用可。
- ・ 音響機材については、ミキサー、スピーカー、CD・MD デッキなど借用可。

いずれも詳細は、直接相談。

（以下も借用可。ただし、屋外での利用は不可）

- ・ 平台 4 台、箱馬 11 個
- ・ 暗幕、グレーパンチ
- ・ その他必要な備品については、応相談。

※具体的には現地およびウェブページ（<http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>）で機材を確認のこと。

以上